

恋文

作詞
作曲

吉田
佐藤

勝旺

■
アズナヴール流しながら

この手紙を書いてます

秋祭りに買った指輪

小指に光ります

椅子の上には赤い千代紙

窓の向こう昼下がりの小雨

何を見てもあなた様を

思い出して候

熱いココアすすりながら

表書きを書きました

夢二の絵の少女真似て

矢絣(やがすり)を着ています

床にはらはら芥子(けし)の花弁

窓を染める雨あがりの夕陽

朝に夕にあなた様を

お慕い申し候

拙(つたな)き文を読まれし後は
焼いて欲しく候